

令和7年度

「運営に関する計画」

大阪市立三国小学校

令和7年4月

(様式 1)

大阪市立三国小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の目標

現状と課題

- 本校の児童は、思いやりの気持ちを大切にし、友だちと協力して活動することができる。その一方で、自己肯定感・自尊感情が低い傾向にあるため、自分の思いを表現できなかつたり、学校へ来づらくなつたりする児童がいる。人権を尊重する教育や、保護者・地域・専門機関等と連携した取り組みにより、豊かな心の育成に努める。
- 令和 6 年度の全国学力学習状況調査の国語科・算数科における平均正答率は、全国平均および全市平均を上回っている。しかし、学力経年調査の平均正答率は学年や教科によってばらつきがあるため、日々の学習を大切にしながら学力の底上げに努める。また、新体力テストについては、前期に全国平均を下回った種目に重点的に取り組むことで、後期に改善できている。体育科授業はもちろん、休み時間・放課後の活用により、さらなる体力向上につなげる。
- I C T 機器の活用については、デジタル教科書・一人一台端末・学習者用タブレットを使った学習や、自宅等で授業を受けたい児童のためのオンライン授業など、積極的に取り組んでいる。また、月ごとの勤務時間の意識や、スクールサポートスタッフ、の充実に伴い、教職員一人あたりの時間外勤務はやや減少傾向にある。子どもたちにいきいきと向き合うためにも、学校における働き方改革を進めていく必要がある。

令和 7 年度の学校目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度末校内児童アンケートで「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88 %以上にする。
- 令和 7 年度末校内児童アンケートで「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 86 %以上にする。
- 令和 7 年度末校内児童アンケートで「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90 %以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度末の校内児童アンケートで「話し合う活動で、考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 46 %以上にする。
- 令和 7 年度末の校内児童アンケートで「体を動かす遊びや運動をするのが好きですか」の項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 72 %以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の 70 %以上にする。〔ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く〕
- 令和 7 年度末の校内児童アンケートで「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。

(様式2)
大阪市立三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。 ・小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 ・令和7年度末校内児童アンケートで「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。 ・令和7年度末校内児童アンケートで「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を86%以上にする。 ・令和7年度末校内児童アンケートで「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。 	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 「学校生活のきまり」や、児童会活動の年間計画を通して、安全で安心できる学校づくり、異学年交流を推進し、安心して楽しく生活できる学校をつくっていく。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回「学校のきまり」を振り返る時間を設ける。 ・月に3回程度、異学年交流の場を設けたり、年に1回子どもフェスティバルを開催したり、年に3回児童会を中心としたあいさつに関する強調週間を設けたりする。 <p>取組内容②【基本的な方向1 安全・安心な教育環境の実現】 日々の児童の様子やスクールライフノートを活用した児童の観察を基に、生活指導部会、スクリーニング会議で情報を共有し、支援を行っていく。また、状況に応じて、スクールカウンセラーや「淀川区子どもサポートネット」と連携し、よりよい支援方法について話し合う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スクールライフノート「心の天気」「いいとこみつけ」活用に関する資料を提示する。 ・月に1回生活指導部会やスクリーニング会議を実施する。 ・いじめの早期発見のため、児童へ学期に1回、保護者に年に2回のアンケートを行う。 	進捗状況

取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】

「互いの違いを認め合い、思いやりの心をもつ子ども」「自分のよいところを自覚し、そのよさを大切にできる子ども」の育成のために、「多様な体験活動」を盛り込んだ人権教育を進める。

指標

- ・「三国小学校の人権教育」に沿って全学級で実践し、年に1回実践交流の場を設ける。
- ・ソンセンニム（韓国・朝鮮の文化等を教える民族講師）・特別支援に関して、他の機関と連携し、年に8回以上の体験活動に取り組む。

(様式2)

大阪市立三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】	
<ul style="list-style-type: none">・小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。・令和7年度末の校内児童アンケートで「話し合う活動で、考えを深めたり、広げたりすることができますか」との項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を46%以上にする。・令和7年度末の校内児童アンケートで「理科の学習が好きですか」との項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。・小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」として、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を72%以上にする。・令和7年度末の校内児童アンケートで「体を動かす遊びや運動をするのが好きですか」との項目に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を72%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 <p>対話を通して、自分の考えを深められるよう、各学年において、「めざす子ども像」を具体的に設定する。また、基本的な学ぶ姿勢を養い、考えや思いを伝え合う力を高めるために、伝え合う場の工夫をし、筋道を立てて自分の考えや思いを主体的に表現できる子どもを育成する授業デザインの工夫を行う。</p>	

指標 全学年で対話的な学びを充実させられる指導法の研究を行い、各学年1回ずつ、全体授業研究会・討議会に取り組む。

取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 対話を通して、考えを深めたり、広げたりできるような授業デザイン力や指導力向上を目指した研究や研修に取り組む。	
指標 校内公開授業に年1回以上全教員が取り組み、相互参観し、研鑽に努める。	
取組内容③【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】 児童が理科の学習が好きになるような授業デザインの工夫を行う。	
指標 理科の実験や授業デザインに関する研修を年に1回以上行う。	
取組内容④【基本的な方向5 健やかな体の育成】 平素の体育科学習に加えて、休み時間を活用し、運動に親しむ児童を増やすようする。	
指標 発達段階に応じた運動ができるように、内容を工夫して、学期3回以上講堂開放を行う。	
取組内容⑤【基本的な方向5 健やかな体の育成】 「生活点検調査」を実施し、規則正しい生活習慣や運動習慣について、機会を捉えて指導を行う。	
指標 学期に1回「生活点検」を実施し、集計結果を児童・保護者に周知する。	

(様式2)

大阪市立三国小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった		B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
年度目標		達成状況
<p>【最重要目標3 学びを支える教育環境の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業日において、児童の8割以上が学習用端末を活用した日数が、年間授業日の70%以上にする。[ただし、事務局が定める学校行事等ICT活用が適さない日数を除く] ゆとりの日を週に1回設定・実施する。 小学校学力経年調査における「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を79%以上にする。 令和7年度末の校内児童アンケートで「読書は好きですか」の項目に対して、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 学校、地域、家庭の連携による様々な取り組みを学期に1回実施する。 		

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向6 教育DXの推進】 教職員がICT機器を活用できるよう、ICT機器の環境整備を行うとともに、ICTの効果的な活用例等の共有も推進していく。加えて、ICT支援員等の人材派遣等も活用していく。	

<p>指標 2年生以上の学級で、学習者用端末を活用した日数を週4回以上実施する。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ICT機器の活用、欠席・連絡等アプリの活用、スクールソポーター、林間学習の学生ボランティア・看護師派遣等の外部人材を活用し勤務時間の削減に努める。加えて、行事の精選についても計画的に行う。</p>	
<p>指標 ゆとりの日を週に1回設定・実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 保護者・地域や公的機関と連携し、子どもの学習をサポートする仕組みを整える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み語り「がちゃばん」との交流 ・PTA・地域諸団体による児童の登下校の見守り ・区役所・警察署との避難訓練・防犯教室 ・地域の講師との英語の学習 ・放課後ステップアップ教室 ・保護者引き渡し避難訓練 <p>指標 学校ホームページで、各学年月に3回更新するほか、月に1回程度、保護者・地域など外部人材との教育活動を実施する。</p>	